さくらちょうしょう
桜町小だより
「緑と笑顔がいっぱい桜町小」
児童数　３１７名　　令和８年１１月号　令和８年１１月２日発行



温　故　知　新
～ 開校記念日によせて ～

校長　齊藤 敦史

色鮮やかな木々の紅葉や、朝夕の澄んだ空気に、秋の深まりを感じる季節となりました。学校では子供たちの元気な歌声が響き渡り、日々の教育活動に生き生きと取り組む姿が見られます。また、先月３日には、多くの保護者・地域の皆様から温かなご声援を頂戴し、盛大に運動会を開催することもできました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

さて、11 月５日は本校の開校記念日です。桜町小は、昭和 45 年４月１日、旧鳩ヶ谷市立桜町小学校として開校し、今年で 57 年目を迎えました。これまで幾多の時代を経ながら、多くの子供たちがこの学び舎で成長し、巣立っていきました。その歴史を振り返ると、学校を支えてこられた保護者や地域の皆様の、深い愛情と熱い思いに気づかされます。

先日、地域の方とお話しする機会がありました。その方は、開校間もない頃、お子様が本校に通われていた元保護者です。「**昔はね、大雨が降ると校庭に水がたまってしまってね。みんなで雑巾やスポンジ、バケツを持って学校に集まったのよ。**」お話によると、当時は排水設備が十分でなく、大雨の後には校庭が水浸しになり、授業に支障が出ていたそうです。そこで、保護者の皆様が朝から集まり、雑巾やスポンジで雨水を吸い取ってはバケツに移し、校地の外へ運ぶ作業を、何度も繰り返したとのことでした。何とも気の遠くなるような話ですが、その方は、当時の苦労を嘆くのではなく、懐かしく、どこか誇らしげに、笑顔で語ってくださいました。そのお姿に、私は胸が熱くなりました。


鳩小校庭を借りての入学式と桜小工事現場

「開校十周年記念誌」を紐解くと、そこには地域の皆様が学校を育ててこられた数々の足跡が記されています。開校当初は鳩ヶ谷小の校舎や教材を借りて教育活動を開始し、同年９月に待望の新校舎が完成。翌年にはプール場、その翌年には市内初の特別支援学級も開設されました。また、開校時に発足したＰＴＡは、安全な通学路の整備や学校施設の充実に尽力されました。降雨により長期間体育授業ができない状況を改善すべく、体育館建設を求めて粘り強く活動され、開校 12 年目にようやく、念願の体育館も完成しました。こうした歴史を知るにつれ、桜町小は、「**子供たちのために**」という保護者・地域の皆様の**強い願い**と**行動力**によって育まれてきた学校なのだと、改めて実感いたしました。


開校１年目の様子

時代は変わり、まちの風景も、学校を取り巻く環境も大きく変化しました。しかし、いつの時代も変わらないものがあります。それは、**子供たちの幸せと健やかな成長を願い、学校を大切に思う人々の心**です。現在も、登下校の見守りや学校行事へのご協力、日々の温かな声掛けなど、数え切れないほどのご支援をいただいております。皆様のその**思い**こそ、**本校の誇るべき「伝統」**です。歴史は過去を懐かしむためではなく、先達の思いを受け止め、今を生きる私たちが、新たな一歩を刻むためにあると感じました。

さくらっ子には、母校を愛し、地域を誇りに思い、いつの日か「**桜町小で学んでよかった**」と胸を張って語れる大人に育ってほしいと願っております。そして私たちも、「**学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ さくらっ子**」の思いを大切に、子供たちの笑顔と未来を願い、本校の大先輩から託された大切な襷を受け継ぎ、次の世代へと繋いでまいりましょう。